

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいんどPOP		
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが通所を楽しみにしている	子どもたちが楽しく活動に参加できるように、職員自身も楽しみ、子どもたちを引きつけられるように盛り上げている	子どもたちが楽しめる活動を増やし、成長に繋げていけるようにする
2	子どもに分かりやすい環境づくり、意思疎通や情報伝達のための配慮	一日のスケジュール以外にも、習慣化されている行動に対しても視覚支援を用いている。子どもたちの表出時や質疑応答に対しても視覚支援で意思疎通を図るようにしている	視覚支援を用いて、その状況に応じたコメント力、気持ちの表現をする力をあげていく
3	職員間の情報共有や業務改善	朝礼以外にも、昼礼を行い日々の支援やその日の注意ポイントなどを話し合っている。また業務改善委員会を設置し、働きやすい環境づくりを目指している	職員間のコミュニケーションを大切にし、質の高いサービスが提供できるよう努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や兄弟同士の交流の場が設けられなかった	人員不足や開催時期、開催方法の調整がむずかしい 兄弟支援までは取り組んでいなかった	イベントの様な大きな規模で開催するのではなく、気軽に保護者同士が話せる場所を提供できるよう立案していく
2	プログラムの固定化	プログラムができる職員が決まっている	いろんな職員がプログラムを出来る様に工夫しプログラムの固定化を防ぐ
3	保護者への情報の発信力	SMSで活動内容や避難訓練など日々事業所で取り組んでいる事を上げるだけで保護者へのアナウンスはしてこなかった	SMSで上げた時など、保護者へアナウンスしていく